《おおたユニバーサルデザインのまちづくり基本方針アクションプランVer.3》　【資料3-1】
（令和6年度～令和10年度）指標に対する取組み実績

「おおたユニバーサルデザインのまちづくり基本方針アクションプランVer.3」の進捗管理は、アクションプランVer.3で設定した指標を活用して行うこととしています。
なお、進捗状況評価とは、目標達成に向けた年度ごとの達成度のことで、◎大きく達成（100%超）○達成（100%）△未達成（100%未満）の3段階評価としています。

●まちづくりの考え方【1】「やさしさ・やくそく」に関する指標とアクションプラン

まちづくりの考え方1の指標を以下のとおり設け、相互に理解し合うために必要な交流の場や参加・参画するための関係機関との連携、情報提供の手段を整えます。

	項目	アクション項目	指標目標（2028年度） ※アクションプラン掲載目標	令和8年度実績 見込み	令和7年度実績 （R8.3.31時点）	進捗状況評価	今後の推進予定	所管課
1	「ユニバーサルデザイン」の定義を理解している人の割合		70.0%	65.0%	58.0% （別紙参照）	△	前年度（67.6%）より、9.6%下回った。令和7年度の目標70%に対しても12.0%下回った。「ユニバーサルデザイン」の理解向上につながるよう、普及啓発に取り組んでいく。	福祉管理課
2	おおたユニバーサル駅伝大会の開催	【1－1】 ふれあいでわかり合える区民の交流促進	実施継続	実施	実施 （参加人数300人）	○	予定どおり、R7.6.1(日)に実施。8年度もR8.6.7(日)実施しており、区は共催事業として支援する。	福祉管理課
3	日本語ボランティア養成講座の修了者数 （令和元年度～令和10年度の累積）	【1－1】 ふれあいでわかり合える区民の交流促進	累計250人	年間40人（累計312人）	66名 （累計272名）	◎	令和7年度は令和6年度と同様に入門編及びステップアップ編を実施し66名修了した。なお、外国人人口の増加等、地域社会状況の変化の中、地域社会状況に応じた推進方法を引き続き検討していく。	地域力推進課 （区民協働・多文化共生担当）
4	認知症サポーター養成講座受講者数 （①令和6年度～令和10年度の累積） 【②実績累計（*1）】	【1－2】 楽しく学べるユニバーサルデザインの教育促進	①累計7,500人 【②延43,500人】	①5,655人 8年度実績見込み：2,000人 ②42,458人	①3,655人（48.7%） 7年度実績：2,167人 ②40,458人	◎	各地域包括支援センターから小・中学校等に積極的に働きかけたことにより、令和7年度の受講者数は当初単年度目標の1,500件を大きく上回り、令和6年度からの累計は、目標値の48.7%に達した。8年度は、地域における土曜日の講座開催を増やすことで多世代が参加しやすい体制を整え、引き続き啓発に努める。	高齢福祉課
5	小中学校での「総合的な学習の時間」等への身体・知的・精神障がい理解学習支援の実施回数	【1－2】 楽しく学べるユニバーサルデザインの教育促進	57回 【小学校40校】 身体20校、知的20校 【中学校17校】 身体10校、知的5校、精神2校	45回 【小学校41校】 身体27校、知的14校 【中学校4校】 身体3校、知的・精神1校	51回 【小学校44校】 身体26校、知的18校 【中学校7校】 身体7校、知的・精神0校	○	前年度（50回）よりも実施校は増加。募集時期や周知方法等を工夫し、新規だけでなく継続実施につなげ、10年度の目標達成を目指す。	福祉管理課
6	障がい者就労定着支援登録者数	【1－3】 区民・事業者・地域の団体等・区が協働で取り組む普及・啓発	1,062人	1,100人	1,087人	○	法定雇用率が上がったこともあり、新規就労者は増えている。今後も上昇は見込まれるが、就労移行支援を利用せずに就労に結び付く方も多くなっており、就労支援センターの定着支援数の割合が一層大きくなると予想される。	障がい者総合サポートセンター
7	タブレット通訳（外国語）の利用件数	【1－4】 情報の発信・提供	1,500件	1,000件	974件	△	相談者が自らスマートフォンの翻訳アプリを準備して相談するケースが増えており、件数が増えなかったと考えられる。必要時に気軽に使えるよう、配置場所や使用方法等を検討するとともに、庁内啓発を継続する。	地域力推進課 （区民協働・多文化共生担当）
8	手話通訳・要約筆記の派遣件数	【1－4】 情報の発信・提供	手話　延2,500件 要約筆記　100件	手話　延2,400件 要約筆記　90件	手話　延2,362件 要約筆記　71件	○	手話言語及び障がい者の意思疎通支援に関する条例の制定やデフリンピックの開催により手話に関する興味・関心は高まっている。その一方で、IT技術の進歩により、音声認識文字変換等の多様なコミュニケーション手段が選択できるようになり、派遣件数の大幅な増加は見込めない状況にある。引き続き手話通訳及び要約筆記の現状を注視していく。	障がい者総合サポートセンター
9	協力不動産店登録数	【1－1】 ふれあいでわかり合える区民の交流促進	150件（*2）	125店舗	123店舗	○	7年度末時点で登録数は123件。毎年度新規登録や廃業等による増減があり変動は少ない。令和8年度は家主・不動産事業者を対象とした居住支援セミナーや不動産店向け居住支援説明会等で区の居住支援施策を周知し協力不動産店の新規登録を募る。	建築調整課
10	要配慮者を対象としたマイ・タイムライン講習会参加者数 （令和6年度～令和10年度の累積）	【1－3】 区民・事業者・地域の団体等・区が協働で取り組む普及・啓発	累計 1,000人	200人 （60事業者、140人）	136人 （22事業者、114人）	△	単年度目標200人が未達成となった。8年度以降は、実施方法を見直すなど、10年度目標達成を目指す。	福祉管理課

*1　平成19年（2007年）度からの累計
*2　大田区住宅マスタープラン（令和5年3月策定）において、令和14年度達成目標として、策定。

●まちづくりの考え方【2】「まち・くらし」に関する指標とアクションプラン

まちづくりの考え方2の指標を以下のとおり設け、まちの環境面の整備による、ユニバーサルデザインのまちづくりを進めていきます。

	項目	アクション項目	指標目標（2028年度） ※アクションプラン掲載目標	令和8年度実績 見込み	令和7年度実績 （R8.3.31時点）	進捗状況評価	今後の推進予定	所管課
1	公園（*1）のバリアフリー整備数 （令和6年度～令和10年度の累積）	【2－2】 ユニバーサルデザインの公共的施設づくり	累計 10か所	3か所 【累計12か所】 （貴船堀公園、中央五丁目公園、（仮称）京浜島二丁目第一公園）	4か所 （田園調布せせらぎ公園、貴船堀公園、中央五丁目公園、かにくぼ公園）	◎	7年度は都市計画事業により4か所の整備が実現した。 8年度も都市計画事業により3か所の整備を予定している。	都市基盤管理課
2	放置自転車台数（*2）	【2－3】 円滑に移動できる施設・設備としくみづくり	500台	328台	328台	◎	8年度実績見込みは、7年度実績と同程度見込みとして算出。 引き続き、放置自転車対策を推進していく。	都市基盤管理課
3	自転車走行環境整備の距離（自転車レーン、自転車専用通行帯　等） （平成28年度～令和10年度の累計）	【2－3】 円滑に移動できる施設・設備としくみづくり	累計 約170km	約170km	約170km	○	自動車ネットワーク整備実施計画による整備が令和5年度に概ね達成した。 今後は都市計画道路等整備に合わせた、走行空間整備の推進及び維持管理を実施する予定。	都市基盤管理課

＊1　ここでの公園とは、1 ヘクタール（10,000㎡）を超えるような大規模公園や、概ね 1,000㎡以上の中規模公園を指す。
＊2　毎年 10 月、平日（晴天）の概ね午前 11 時頃調査を実施し、放置禁止区域・放置禁止区域に準じた区域 において把握した放置自転車台数。

●まちづくりの考え方【3】「しくみ」に関する指標とアクションプラン

まちづくりの考え方3の指標を以下のとおり設け、より多くの区民が参画、事業者と協働できるよう、継続的な取組みができる体制の構築を進めます。

	項目	アクション項目	指標目標（2028年度） ※アクションプラン掲載目標	令和8年度実績 見込み	令和7年度実績 （R8.3.31時点）	進捗状況評価	今後の推進予定	所管課
1	UD合同点検における UDパートナーの参加率（*1）	【3－1】 地域力を活かしたユニバーサルデザイン推進体制づくり	100%	97%	92.0% （全4回開催、延べ46人参加）	○	当日体調不良等により欠席があったが、概ね参加。参加しやすい実施時期等考慮し、参加率向上を目指す。	福祉管理課
2	ユニバーサルデザインや障がい理解等に関する職員研修の理解度（*2）	【3－3】 行政サービスのユニバーサルデザイン	100%	85%	68.2% 【採用2年目研修】 理解度66.8% 参加人数187人 対象所属：全所属 【福祉理解スキルアップ講座】73.0% 参加人数：63人 対象部署：全部署 【心のバリアフリー研修】66.7% 参加人数：27人 対象部署：施設保全課、施設整備課、都市基盤管理課、福祉管理課の新採や異動職員	△	昨年度（79.9%）より11.7%理解度が下がった（68.2%）ため、8年度目標値85%を達成できるよう、より理解しやすい研修内容の見直しを図り、目標達成を目指す。	人事課 福祉管理課

＊1　参加率の算出には、事前に欠席の意思表示をした人を除く。
＊2　理解度とは、研修のアンケート「研修内容を理解できたか」の設問に対し，4段階評価で 4(理解できた)を選択した職員の割合